

## 先輩より後輩に向けてアドバイス

5日間という長期にわたるインターンシップだからこそ、得られた知識、スキル、そして共に就職活動をしていく友人ができました。プレゼン準備などでつらい事も多かったですが、とても充実したものになりました。企業を知るだけでなく、自己分析にもなり、良い経験になりました。

(人文学部女子学生より)

もし気になっている業界があるならば、その業界の企業のインターンシップに1つだけでも参加してみてください。企業・業界が自分の考えと合うものか分かるのもそうですが、その後の学生生活への意識が変わります。1Dayインターンシップも手軽で良いですが、できれば5日間以上の中長期インターンシップに参加すると、理解が深まると思います。

(人文学部男子学生より)

しっかりと企業の事を調べて参加し、またインターンシップ期間中は積極的に行動し、質問すれば実りのあるものになると思う。

(工学部女子学生より)

インターンシップに行くことで、大学で今学んでいる事を仕事の現場ではどのように活かされているのかが分かる。今後の勉強、研究へのモチベーションにもつながるから行くべきだと思います。

(工学部男子学生より)

就職活動は3年後期から、という世間一般の常識にとらわれることなく、興味を持った時が自分を成長させる最大のチャンスだと思ってトライしてほしい。

(2年生)(生物資源学部男子学生より)

インターンシップにはぜひ参加してみるべきだと思います。社会人になる上で必要なマナーの重要性をよく知ることができるからです。またインターンシップの内容にもよりますが、企業によっては仕事の良い面も悪い面も教えていただけたと思うので、進路選択、業務選びに大いに役に立つと考えます。

(人文学部女子学生より)

積極的に自分から聞いて行動し、何が足りないのか把握して、それを今後に活かしましょう。インターンシップは職場の雰囲気を知ることに関して最も良い方法だと思うので、ぜひ参加してください。

(人文学部男子学生より)

自分の意識次第で得られるものは大きく変わると感じた。受け身ではつらい事も多い。積極的に参加しようという気持ちが大切になってくると思う。私は将来教員になるかについて悩んでいたもので、現場で働く先生方と話せた事はとても参考になった。人によって差はあると思うが、私は価値のある2週間だったと思う。

(生物資源学部女子学生より)

学部2年生で初めて参加したインターンシップだったため、周囲のインターンシップ参加者より年下だったが、年下扱いされる事はなく、良い刺激を受けたし、来年のインターンシップへの課題や目標も見えてくるので、積極的にインターンシップに参加すべき。

(2年生)(生物資源学部女子学生より)

今回の実習では、大勢の職員方の前で司会を行うため、失敗は許されないと感じ、事前に司会の進行シナリオを作成し、担当の職員の方に内容の確認を依頼した。せっかく貴重な時間を割いて実習に参加するなら、受け身ではなく、しっかり事前準備をして積極的に行動してほしい。

(工学部男子学生より)

5日間という長期にわたるインターンシップだからこそ、得られた知識、スキル、そして共に就職活動をしていく友人ができました。プレゼン準備などでつらい事も多かったですが、とても充実したものになりました。企業を知るだけでなく、自己分析にもなり、良い経験になりました。

(人文学部女子学生より)

インターンシップは今まで自分がイメージしていた企業や社員の現実との差異を確認できる良い機会だと思います。特に社内の雰囲気や環境、そもそも企業で働くのはどんな感じなのかは、実際に自分が感じてみないと分からない面が大きいです。迷っているならぜひ参加してみるべきだと思います。

(生物資源学部男子学生より)

受入企業は学生を「労働力」ではなく「経験させて成長するように」「もっと自企業のことを理解して欲しい」という思いで行なうので、また違った体験ができる。

(工学部男子学生より)

自分で調べるだけでは分からない事をたくさん知ることができると思うので、体験させて頂く事をオススメします。就職活動を行う時のモチベーションにもなるのではないのでしょうか。また、社会人の方々と関わる機会をつくることは自分のためにもなると思います。

(人文学部女子学生より)

インターンシップの参加で自分の未熟さを改めて知る事が出来る。社員の方や、他大学の年齢も違うインターン生と会話する機会が多く、とても良い刺激になる。

(工学部男子学生より)

インターンシップは将来の職業について考えるのに良い機会であるのはもちろんですが、初対面の人とのコミュニケーションや上層部の方々の前でのプレゼンなど、普段出来ない経験が出来るため、ぜひ参加してみてください。

(工学部女子学生より)

1つの企業に絞っていたとしても、出来るだけ多くの企業を見るべきである。インターンシップの期間にしか体験できない事なので、面接なども含めどんどんチャレンジするべき。

(工学部男子学生より)